

今回は 12 月 1 日（金）から 6 日（水）までに実施された、SSH オーストラリア海外研修の報告です。高校 2 年生 10 名と引率教員（理科の長山先生）で、シドニーにて研修をしてきました。SSH の海外研修は、コロナによる中止が 3 年続きましたので、4 年ぶりとなります。そして、コロナ前の研修先（アメリカ西海岸）から、時差の少ないシドニーへ研修先を変更して、初めての研修となりました。今年度は 6 月頃から生徒募集を行い、夏休みから 11 月末まで、様々な事前研修を重ねてきました。研修の内容を、今回は紙面で報告しますが、来年 3 月のサイエンスフォーラムでは、参加者によるオンライン報告会を行いますので、そちらも楽しみにしてください。

紙面の最後に掲載している URL から HP を見てもらえれば、フルカラーの電子データで見られます。高校 1 年生の皆さん、来年度はあなたたちの番ですよ！！

12/1(金)

旅行の準備をして学校集合。JTB の方から羽田空港までの切符と飛行機チケットを受け取る。出発までの時間にウェノナスクールで発表する研究紹介の練習をした。まだ未熟なためオーストラリア着後も練習時間を確保する必要あり。学校発、上田経由で羽田空港第 3 ターミナルへ移動、そこで JTB 添乗員水谷さんと合流し、無事に出国しました。



12/2(土)

早朝にシドニー空港到着。入国審査を受け、専用バスでホテルに荷物を預けに行きました。途中、シドニー市内でオペラハウスが見える景色の良い公園にバスが止まってくれました。午前中はパワーハウスミュージアムで現在も動いているものとしては世界最古（とっていた）の蒸気エンジンを中心に、蒸気機関が如何に革命的で現在でも最新の技術であることを説明してもらった。

午後は生徒達が計画していた実験を行う予定であったが、雨であったため実行できなかった。カメラのセットの仕方、使い方などをホテルのロビーで復習し、翌日以降の実行への準備を行った。

飛行機の中での数時間の睡眠で土曜日を乗り切らなければならず、皆フラフラしていたが、夕食も早めに済ませ良く寝て翌日に備えた。



12/3(日)

トラムに載ってフェリー乗り場に向かい、フェリーでタロンガ動物園を目指した。この時間帯に日本では松島先生が月の撮影をしているはずなので、こちらでもフェリーの甲板上で望遠レンズカメラを使い月の撮影を行った。到着後に少し時間があつたので陸地から三脚を使いしっかり撮影した。タロンガ動物園では education institution というものがあり教育目的でしか見学できないバックヤードがある。オーストラリア特有の動物の生態系を再現した場所で実際に飼われている動物を観察できた。また、コアラと間近で写真が取れるのも教育目的ツアーのみである。役得であった。



ツアー後こちらで用意したニホンライチョウの保護活動に関するプレゼンテーションを聞いてもらい希少動物保護の難しさについて共感していただきました。とても感激され、「私たちはこの動物園で日々、希少動物保護のために環境維持の重要性を一生懸命に訴えている。しかし、いくら頑張っても現状を知らなかったという人が多く気持ちが弱くなることがある。今日は日本にはみなさんのような意識の高い若者がいることを知り、とても勇気づけられた。」と奥の部屋へ駆け戻り特別に全員にカンガルーのキーホルダーをくれました。ホテルまでの道すがら、有名な観光地でもある波止場（ダーリングハーバー）で夕食をとり、ホテルまで歩いて帰りました。



12/4(月)

本研修の主目的であるウェノナスクール訪問及び共同研究の提案の日です。

朝七時出発でトラムと電車を乗り継ぎノースシドニー駅へ。15分間上り坂をウォーキングしてウェノナスクール到着。これまでの3年間理科とオンライン交流を続けて下さっていたトンプソン博士（生物担当）に出迎えていただき、セキュリティのために全員が電子署名をして中に入れるまでに30分かかりました。

ウェノナスクールはシドニーの街が一望できる高級住宅街にある学校です。幼稚園（5歳）から高校卒（18歳）まで受け入れている女子学校です。先生方の半分ぐらい



は男性ですが、屋代の男子生徒二人は女子生徒に囲まれつつ頑張ってコミュニケーションを取りました。

屋代の生徒一人ずつに現地生徒一人（バディー）がついてくれて午前中の 4 時間はバディーが受ける授業と一緒に受けました。理科ばかりの生徒もいれば芸術や体育もあった生徒もあり、さまざまな経験をしました。

「英語が早口すぎてほぼ分からない」という悲鳴をあげつつ、バディーとコミュニケーションと心を通わせることができました。お昼はバディーとカンティーンと呼ばれるカフェテリアのようなところでとりました。そして、午後からはこの研修のメインイベント、Science Extension クラスにて屋代・ウェノナ研究テーマ合同発表会を行いました。屋代からは北半球と南半球で協力して進められるテーマでの共同研究を3つ提案しました。リモートで見ていた生徒の中に「月の撮影」を一緒にやりたいと言ってくれた生徒がいるようです。Science Extension コースは年度が始まったばかりでウェノナの生徒はそれぞれの考え中のテーマを発表してくれました。プレゼントを交換し合い、別れを惜しみながら帰路につきました。やはりダーリングハーバーで夕食を取って帰りました。

夜、晴れていたので念願の南天撮影をホテル付近の広場で夜中まで行いました。

12/5(火)

3 か所を訪問する忙しい一日です。1 か所目は Optus Satellite Facility という通信技術企業です。地上には沢山のアンテナ、宇宙に十数個の人工衛星を所有する企業です。オーストラリアの大手電波通信会社ですが、積極的に児童・生徒に教育プログラムを提供してくれています。2 月に日本旅行予定の社員さんが頑張って作ってくれた日本語入りのスライドで分かりやすく説明してくれました。撮影禁止でしたがモニタリングルームがたくさんモニターがあってテレビ放送や SNS コミュニケーションを支えている感じが取りられました。

昼食をザ・ロックスという地域にある有名なハンバーガー屋でいただきました。2 か所目は先週屋代に来校された Jody Webster 教授の研究室です。共同研究者の Anna 教授にグレートバリアリーフの研究拠点の話をしてもらいました。大学院生二人で Webster 研究室の高価な機



